



エコアクション21[®]
認証番号 0010581

株式会社日恵製作所

2023年度環境経営レポート

(対象期間 : 2023年3月21日 ~ 2024年3月20日)



作成日: 2024年4月26日

□ごあいさつ

当社は1981年の設立以来培ってきた知識・経験に、日々進化し続けるIT技術・情報を取り入れて「小さな技術革新」の積み重ねによってより高品質で付加価値の高い「モノづくり」を目指しております。

高まる地球環境保全の重要性も深く理解し、地下資源の節約に貢献できる長寿命製品の開発により一層の努力をすると共に、資源の節約にも積極的に取り組み、皆様にご満足いただける会社を目指す所存でございます。

株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵

環境経営方針

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、電子機器等の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組み、地域社会の発展に貢献すると同時に社会から一層信頼される企業を目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 廃棄物の削減及び再生利用に取り組みます
4. 水道水の節約に取り組みます
5. 化学物質の適正管理に取り組みます
6. 環境に配慮した製品の開発・販売促進に取り組みます
7. 環境に配慮した資材の購入・調達を推進します
8. 環境経営の継続的改善に努めます

この方針を全社員に周知し、環境への取り組みを環境経営レポートとして取り纏め公表します

制定日： 2014年6月20日
改訂日： 2023年5月17日
代表取締役 恩田 恵

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵

(2) 所在地

本社 大阪府門真市桑才新町33-9
第二工場 大阪府門真市桑才新町9-1
東京営業所 東京都江東区富岡2-6-6
名古屋営業所 愛知県名古屋市北区若葉通3-19 谷口ビル1F
福岡営業所 福岡県福岡市博多区豊2-4-1
仙台営業所 宮城県仙台市若林区荒井3丁目29-4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業本部 部長 勝部 俊行 TEL:06-6908-6930
担当者 総務課 林 勲 TEL:06-6908-6930

(4) 事業内容

電子応用機器製造販売
主要製品:LED回転灯・表示灯及びアミューズメント機器

(5) 事業の規模

製品出荷額 10 億円 (2022年度)

	本社	東京(営)	名古屋(営)	福岡(営)	仙台(営)	合計
従業員	60	6	3	2	1	72
延べ床面積	3,002	338	46	140	40	3,566

※本社に第二工場含む、但し第二工場は常勤者無し

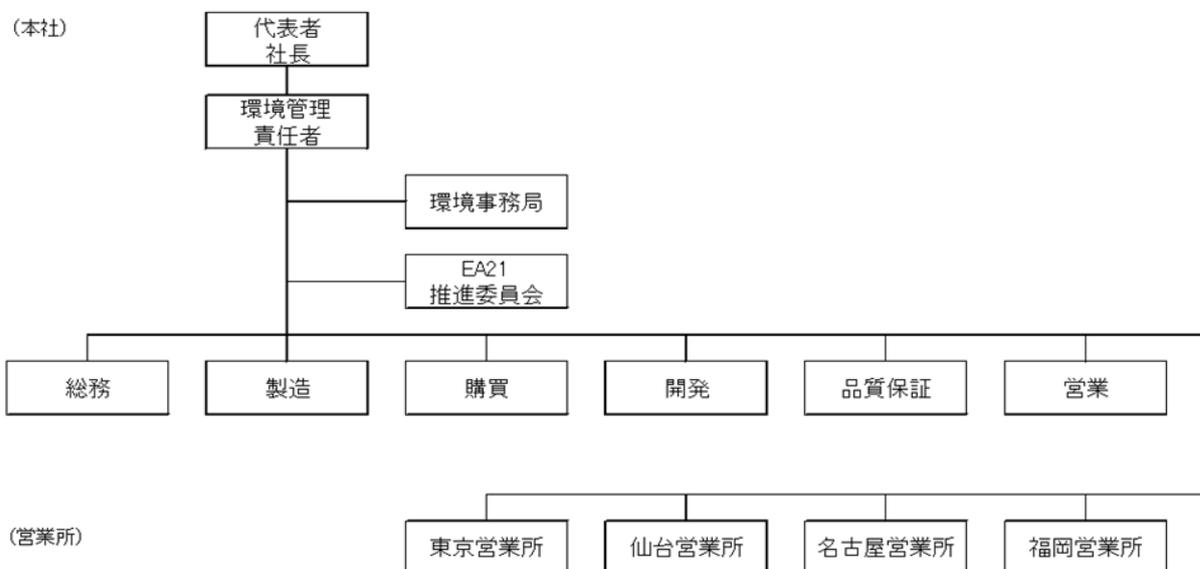
(6) 事業年度

3月21日～3月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社日恵製作所
対象事業所: 本社・第二工場及び東京・仙台・名古屋・福岡各営業所
活動: LED回転灯・表示灯及びアミューズメント機器の製造・販売

組織図



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	110,700	113,434	115,352
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	88,211	86,929	88,659
燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	22,489	26,505	26,693
廃棄物排出量	kg	15,905.3	14,231.9	12,884.9
一般廃棄物排出量	kg	8,025.3	9,701.9	8,934.9
産業廃棄物排出量	kg	6,880.0	4,530.0	3,950.0
水使用量	m ³	1,024	995	1,078

※電力の二酸化炭素排出量換算値 (kg-CO ₂ /kWh)	本社	0.481
	東京(営)	0.207
	名古屋(営)	0.406
	福岡(営)	0.481
	仙台(営)	0.476

□環境目標及びその実績(全社)

項目	年度	基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	100,772	92,048	88,659	88,696	86,462
	基準年比	2015年	91%	88%	88%	86%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	78,068	56,489	26,693	49,635	48,452
	基準年比	2015年	72%	34%	64%	62%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	178,840	148,538	115,352	138,331	134,914
一般廃棄物の削減	kg	10,336	9,584	8,935	9,545	9,444
	基準年比	2015年	93%	86%	92%	91%
産業廃棄物の削減	kg	14,700	6,615	3,950	6,615	6,615
	基準年比	2015年	45%	27%	45%	45%
水道水の削減	m ³	1,255	1,152	1,078	1,140	1,125
	基準年比	2015年	92%	86%	91%	90%
グリーン購入の推進	チェックリストによる購入推進	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上
製品・サービスへの環境配慮(注1)	万円	65,891	72,480	73,985	79,728	87,701
	前年比	2022年	110%	112%	110%	110%

(注1) LED採用モーターレスの産業用(アミューズメント機器は除く)製品の販売額

本社

項目	年度	基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	81,145	78,711	79,820	77,088	75,465
	基準年比	2015年	97%	98%	95%	93%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	27,152	20,907	11,657	20,635	20,364
	基準年比	2015年	77%	43%	76%	75%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	108,297	99,618	91,477	97,723	95,829
一般廃棄物の削減	kg	9,688	9,204	8,701	9,204	9,107
	基準年比	2015年	95%	90%	95%	94%
産業廃棄物の削減	kg	14,700	6,615	3,950	6,615	6,615
	基準年比	2015年	45%	27%	45%	45%
水道水の削減	m ³	957	900	891	890	880
	基準年比	2015年	94%	93%	93%	92%
グリーン購入の推進	チェックリストによる購入推進	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上
製品・サービスへの環境配慮(注1)	万円	65,891	72,480	73,985	79,728	87,701
	前年比	2022年	110%	112%	110%	110%

東京営業所

項目		年度	基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
				(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		11,822	5,911	3,464	5,674	5,320
	基準年比	2015年		50%	29%	48%	45%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2		15,632	11,255	2,853	10,942	10,630
	基準年比	2015年		72%	18%	70%	68%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	27,454	17,166	6,317	16,617	15,949
一般廃棄物の削減	kg		288	167	133	164	161
	基準年比	2015年		58%	46%	57%	56%
水道水の削減	m ³		148	139	87	138	136
	基準年比	2015年		94%	59%	93%	92%

名古屋営業所

項目		年度	基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
				(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		2,456	2,284	1,713	2,211	2,161
	基準年比	2015年		93%	70%	90%	88%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2		13,029	7,557	5,683	7,427	7,296
	基準年比	2015年		58%	44%	57%	56%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	15,485	9,841	7,396	9,637	9,458
一般廃棄物の削減	kg		84	59	34	57	56
	基準年比	2015年		70%	40%	68%	67%
水道水の削減	m ³		30	17	21	16	15
	基準年比	2015年		55%	70%	53%	50%

福岡営業所

項目		年度	基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
				(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		4,136	3,930	3,257	3,723	3,516
	基準年比	2015年		95%	79%	90%	85%
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2		15,634	10,944	5,128	10,631	10,162
	基準年比	2015年		70%	33%	68%	65%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	19,770	14,873	8,385	14,354	13,678
一般廃棄物の削減	kg		240	132	59	120	120
	基準年比	2015年		55%	25%	50%	50%
水道水の削減	m ³		120	97	79	96	94
	基準年比	2015年		81%	66%	80%	78%

仙台営業所

項目		年度	基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
				(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		1,213	1,213	405	2023年8月で閉所	
	基準年比	2015年		100%	33%		
自動車燃料等による二酸化炭素削減	kg-CO2		6,621	5,827	1,372		
	基準年比	2015年		88%	21%		
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	7,834	7,040	1,777		
一般廃棄物の削減	kg		36	23	7		
	基準年比	2015年		63%	20%		

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	・再生可能エネルギー主体の電力会社切替実施 ① 新出光 本社 2017/3月/福岡(営) 2017/5月 ② 出光グリーンパワー 東京(営) 2017/5月
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房26℃)	◎	
・不要照明の消灯	◎	
・空調を必要な区域・時間に限定	◎	
・クールビス・ウォームビスの実施	○	
・屋上の遮熱塗装	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	◎	・営業車リース契約更新時に、ハイブリッド車への切替実施。 本社(2017年/4月、8月、9月、2022/3月 各1台) 名古屋(営)(2018/2月、2020/9月 各1台) 福岡(営)(2016/9月、2019/8月 各1台)
・社用車の定期点検の実施	○	
	◎	
		・コロナ自粛で遊技現場・客先訪問の激減でガソリン消費も減。
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	本社工場稼働率アップなど廃棄物の増加に影響
・ゴミの分別の徹底	◎	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・回収した資源ごみのリサイクル確認	◎	
・3S活動の実施	○	
産業廃棄物の削減		
数値目標	○	2015実績比 27%
・加工ロスの削減	○	
・クレーム発生の撲滅	○	
・収集運搬業者・中間処理業者との契約	◎	
水道水の削減		
数値目標	○	2015実績比 86%
・自動水栓取り付け	○	
・手洗い・洗い物の際の節水励行	△	
・ホースの手元バルブ使用	○	
グリーン購入の推進		
・グリーン購入対象品のリスト作成	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	—	
・コピー紙の再生紙活用	○	
製品・サービスへの環境配慮		
・LED採用/モーターレスという長寿命商品の更なる充実	◎	・コロナ禍で厳しい市況の中、新製品の導入・プロジェクト獲得で前年比2桁増販を達成。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ等)、水銀使用製品(蛍光灯)
浄化槽法	浄化槽設備の定期点検(年1回)
フロン排出抑制法	業務用空調機 30台、自主点検 1回/3か月
家電リサイクル法	家庭用エアコン 4台
自動車NOx・PM法	小型トラック 1台
消防法	消防設備の定期点検(年1回)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反の指摘・訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年4月10日

- ・2016年度からは、エコアクション21の取り組みを全社展開し、環境に優しい製品の供給と、会社活動による環境負荷の削減に努めてまいりました。
- ・2017年度からは、営業車のハイブリッド化によるガソリン消費の削減、再生可能エネルギー主体の電力会社への切り替えなど、環境負荷軽減に取り組みました。
- ・2019年度に、蛍光灯のLED化の検討を予定し2021年度には実現を考えておりましたが、未着手に終わったままになっており、2024年度には実現に向けて検討を行います。
- ・本社の空調設備の更新も必要となっており、省エネ機器への切り替えも踏まえて検討します。
- ・電気、水道など光熱費は毎月の流れを監視し、異常を把握します。
- ・また、環境に優しいLED商品の開発に一層の注力をしていきます。
- ・コロナによる内外の制限の緩和が進む中、顧客訪問も細心の注意を払いながら頻度・濃度を高めながら、全社をあげて2024年度の新たな目標に向けて活動を継続してまいります。

□環境活動の紹介

環境に優しい、電球もモーターも使用しない当社のエコ商品群をご紹介します

